



▼梅の実をブルーシートに落として収穫する参加者の皆さん



の梅は、同センターで葉や枝を取り除き選別。重さを測りながら袋詰めして、1㎡200円で販売しました。熊本市東区から参加した親子は「梅ちぎりは初めてでしたが楽しかったです。収穫した梅は、ジュースや梅干しにして楽しみます」と笑顔で話しました。

採れたての梅はいいかが

宮内梅まつりが坂本梅林で開催

6月1日（土）上場の坂本梅林および宮内地区社会教育センターで、宮内梅まつりが開催されました。宮内地区の伝統を継承するためNPO法人「自然樂舎みやうち」（境国嗣代表）が主催。同地区の区長や子ども会、地域住民などに町外からの参加者を加えた約30人が参加。参加者は、きれいに実った梅を手でちぎって収穫。子どもたちは保護者などに枝を手の届く高さまで下げてもらいながら1つひとつ丁寧に摘み取り、高い枝に実った梅は竹の棒でたいてブルーシートの上に実を落とし、拾い集めました。収穫した200㎡の梅は、同センターで葉や枝を取り除き選別。重さを測りながら袋詰めして、1㎡200円で販売しました。

交通安全の技術を競う

第53回御船地区交通安全子ども自転車大会

6月1日（土）甲佐小学校体育館で「第53回御船地区交通安全子ども自転車大会」が開催されました。

同大会は御船地区交通安全協会が、子どもたちに自転車の正しい乗り方に関する知識や技能を身に付けてもらおうと開催。郡内の小学校から3チーム12人が参加しました。

競技は交通ルールについての学科テストと実技テストが行われ、甲佐小チームが優勝。個人の部では原田豊秀くん（仁田子区・甲佐小6年）が優勝に輝きました。



▲自転車に乗って体育館内のコースを走行する児童



▲令和元年度春の叙勲を受章された中村さん

中村幸男さんが旭日双光章を受章

令和元年度春の叙勲

5月21日付けで発令された令和元年度春の叙勲において、多年にわたり地域づくりを支えてこられた中村幸男さん（緑町区）に旭日双光章が授与されました。春秋叙勲は、国への功労や社会の各分野において優れた行いのあった方などに対し、その功績や業績を国が表彰するもの。中村さんは熊本県商工会連合会理事を12年、甲佐町商工会理事を12年、甲佐町商工会会長を12年務めるなど中小企業振興に貢献されたことなどが認められ、今回の受賞となりました。受賞を受けて中村さんは「また気持ちを新たにがんばります」と決意を語りました。

お父さんに牛乳を贈ろう

「父の日の牛乳を贈ろう」キャンペーン

6月16日（金）上益城郡酪農組合女性部の4人が「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンで、町役場を表敬訪問しました。

同キャンペーンは、「父（ちち）」と「牛乳（ちち）」をかけて、家族のためにがんばるお父さんに牛乳を贈って応援しようという取り組みで、平成13年から行われています。

女性部の4人は、奥名克美町長と蔵田勇治町教育長に父の日特製容器に入った牛乳を贈呈。受け取った奥名町長は「大事にいただきますね」と話しました。



▲奥名町長らに牛乳を手渡す酪農組合女性部の皆さん



▲びふれす広場で本町の特産品を手取る来場者

本町の物産と観光をPR

第12回甲佐町観光物産展を熊本市で開催

6月10日（月）熊本市中央区上通で、第12回甲佐町観光物産展が開催されました。

本町の魅力ある物産や観光資源、郷土文化などを町外にPRすることを目的に、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催し、町、甲佐町観光協会、JAかみましが後援。11団体が、同市中央区びふれす熊日会館前の「びふれす広場」に出店しました。

物産品販売コーナーでは、取れたての新鮮な野菜や生花、手作りアクセサリーなどの雑貨、「こうさんもん」ブランド認定商品などが所狭しと並び、多くの来場者が特産品などを手に取り、買い求めました。

区民と復興団地入居者の交流を

下豊内区で交流コンサートを開催



▲歌謡曲を披露する奥野ひかるさんと住民同士の交流を楽しむ下豊内区民の皆さん

5月30日（木）下豊内公民館で、下豊内区地域住民交流会が開催されました。

同区（西住幸郎区長130世帯）の区民と4月に完成した甲佐地区災害公営住宅「甲佐団地」（30世帯）の入居者との交流と親睦を図るために企画し実施。

大阪を中心に活動する歌手で、全国各地の仮設団地や復興住宅などを訪問している奥野ひかるさんを迎えての演歌や歌謡曲のコンサートが開催されました。参加した約40人は、奥野さんの響く歌唱力と力いっぱいの振り付けを鑑賞し、元気いっぱいの歌声を楽しみました。

交流会に参加した70代の女性は、「奥野さんのきれいな歌声と楽しいおしゃべりを聞けて、もっと元氣になれそうです」と笑顔で感想を述べました。

西住区長は「新たに団地に入居された方も下豊内区民となられたので、今後も地域行事などで交流を図りたいです」と地域住民同士の交流促進について話しました。